

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9587

偉人先人顕彰事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	偉人先人顕彰事業		

事業種別	単年		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進	435-1194
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名を高めた個人を、誇るべき郷土の人物として市民に広く知らしめ、市民のふるさと意識の高揚に資する。		本市の出身者又は本市にゆかりの深い者のうち、近代史及び現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった個人を顕彰し、その功績を紹介する。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	「和歌山市の偉人・先人」冊子の増刷及び、本市にある偉人・先人ゆかりの地を巡るマップを作製、公開。 また、本市出身の作家津本陽氏を新たに偉人・先人として顕彰。	津本陽氏の顕彰に伴い、本庁舎内「和歌山市の偉人・先人コーナー」を改修。 偉人・先人ゆかりの地を紹介するマップパネルを設置。 また、農学博士高橋克己氏の生誕地を整備し、看板を設置して氏の功績を顕彰。	陸奥宗光の銅像建立50周年をホームページや博物館の特別展示により紹介した。また、偉人・先人ゆかりの地を紹介し、生誕地の顕彰の継続を図った。	偉人・先人について親しみやすく、わかりやすく紹介。	偉人・先人について親しみやすく、わかりやすく紹介。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	440	440	1,116	1,116	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	53.3%	112.6%	153.6%	153.6%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	5,638	5,638	4,141	4,061	3,957	4,189	3,491	0	3,491
	正規職員以外	662	0	369	0	1,951	1,951	1,951	0	1,951
	小計	6,300	5,638	4,510	4,061	5,908	6,140	5,442	0	5,442
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	440	440	1,116	1,116	0	0	0	0	0	0
所要人数 (人)	正規職員	0.70	0.70	0.52	0.51	0.51	0.54	0.45	0.00	0.45
	正規職員以外	0.29	0.00	0.17	0.00	0.38	0.38	0.38	0.00	0.38
主な予算内訳	委託料：0千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各種偉人・先人顕彰事業の実施回数 (冊子や実績看板の製作など)		回	目標値	2	2	1	1	1
			実績値	2	3	0		
			達成度(%)	100%	150%	0%	%	%
偉人・先人顕彰事業に関する広報の実施回数		回	目標値	2	2	1	1	1
			実績値	2	2	3		
			達成度(%)	100%	100%	33.3%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和3年度は、陸奥宗光銅像建立50周年を記念して、博物館において特別展示を行ったほか、ホームページにも専用ページを開設して50周年を周知するとともに、陸奥宗光の功績を広く顕彰した。また、南方熊楠生誕の地の石碑設置場所の所有者等と協議し、南方熊楠出身地である本市の顕彰事業を継続できるよう努めた。今後も引き続き偉人・先人の顕彰を行う。
見直し・改善内容	さらに本市の偉人・先人を広く市民に知ってもらえるよう方法を検討する。ホームページやパンフレット等のより一層の充実を図る。